



# 清瀬の風



令和7年6月2日  
清瀬市立清瀬小学校  
校長 谷口 雄麿  
学校だより 6月号

## 専門家の方々による授業（投げ方教室・走り方教室）



今年も地域野球チーム「ジャガーズ」のコーチの方々「投げ方教室」を開いていただきました。腕や脚の動かし方、目を向ける方向など、遠くに投げるためのポイント教わりながら子供たちは何度もボールを投げました。昨年度は、この教室で投げ方を教えていただいたおかげで多くの子供たちが記録を伸ばしました。特に女子の記録の伸びは顕著でした。

また講師の先生をお招きした「走り方教室 ENJOY!マイペース RUN」も開催しました。足の裏で思い切り地面を蹴ること、正しい姿勢で重心を保つことなどを教わり、自分のフォームを見直しました。子供たちの授業終了後には、先生たちも走り方や指導のポイントなどを教わる研修会を行いました。

特定の学年ではありますが、スイミングスクールのコーチの方々にも教わる水泳指導も始まっています。専門家に教わることを通して、それぞれの運動時における身体の使い方や体重移動の仕方など、正しい運動方法などを身に付ける学習をしています。

地域の人材を活用した授業は体育以外の教科等でも行っており、以前に増して多くなりました。このような専門性の高い授業は、子供たちの学びに対する興味・関心を引き出したり、多くの大人との関わりを通して社会性を育んだり、子供たちの成長に大きな効果を与えています。



## 登下校時の安全確保と思いやり

毎日の登下校ではそれぞれの通学路を通ります。その道中では交通安全に気を付けることが必要です。また不審者遭遇時には、状況に応じて適切に対応し自分の身を守ることも必要です。学校では、自分自身の生活に照らして考えて行動できるよう、月に1回程度の頻度で「交通安全」・「生活安全」・「災害安全」の3領域から安全教育を行っています。一方で、通学路には様々な立場の人が生活しています。夜間に働き日中に身体を休めている人、幼い乳幼児を育てながら家事をしている人、在宅で仕事をしている人…。そんな地域の中で子供たちは登下校しています。

先日こんな声が学校に寄せられました。「登下校中の子供たちの声が騒がしい。複数の子供が道いっばいに広がって歩いたり、石や空き缶を蹴ったりしている子供もいる。中には通学路ではない私有地の駐車場を通り抜ける子供もいる。…」

私たち大人は、登下校中の子供たちの安全を確保しつつも、子供たち側も思いやりの心をもたせることが必要です。これからも学校では全体や学級単位での指導を都度行っていきます。ご家庭でも一度話題にいただき、子供たちの安全確保と地域への思いやりについてお子様と話し合ってみてください。

## 清小地区の避難所運営訓練 6月7日(土) 10時受付開始

大きな災害が発生した時には、この地域では清瀬小学校の体育館が避難所となります。避難所運営はその地域に住む人たちで行うことから、この訓練は子供たちにとっても地域の方々と一緒に学ぶ貴重な機会となります。ぜひご家族で参加してはいかがでしょうか。もちろんこの訓練には、子供だけの参加も可能です。清小6年生と清中生のボランティアも活躍します。

## 共通の連絡事項

※6月の学校公開日について

5月号でもお知らせいたしましたが、下記の日程で学校公開を行います。ぜひ、ご来校いただき、参観してください。

日時：6月9日（月）、10日（火）、11日（水）、（全て2校時から4校時まで公開）

10日（火）は、交通安全教室を予定しております。学年と時間は、以下の通りです。

4年生・・・2校時 5年生・・・3校時 6年生・・・4校時

※6月14日（土）学校図書館開放（午前9時から正午まで）

先月からサタデースクールと同日に、学校の図書室を地域の図書館として開放しています。

図書館司書による工夫を凝らした楽しい読み聞かせも行っていきます。どの学年でも、ご家族そろって来ていただいても、読み聞かせを楽しむことができますので、ご来館ください。

## 【確かな学力の向上、学びへの関心・意欲の醸成】

5月19日～23日に個別最適な学びを促進する「個別最適化週間」を実施しました。個別最適な学びとは、子供一人一人の学習進度や個性、興味・関心に合わせた学習活動を実践し、自己の可能性を最大限に引き出すことを目指しています。令和の日本型学校教育が示す重要な要素です。令和4年度に校内で研究を行い、教員用のガイドブックにしました。日々の教育活動でも行っていることですが、改めてガイドブックを活用する一週間でした。これからも様々な手だてで児童の力を高めていきます。

## 【豊かな心、しなやかで強かな心の育成】

今回は「学級環境適応度『アセス』」の実施についてお知らせします。目的は、学校生活における児童個々の意欲や満足感、学級集団の状態を把握し、その結果を活用して生活指導等の諸課題の解決を図ることです。①生活満足感、②教師サポート、③友人サポート、④向社会的スキル、⑤非侵害的關係、⑥学習的適応の6観点から児童及び学級の変容を捉えます。本校では、「ふれあいアンケート」と合わせて、6月・11月・2月の計3回実施します。児童の実態を分析し、日々の指導・支援につなげます。

## 【運動習慣の確立、体力の向上】

5月からマイペースラン（持久走月間）を行っています。中休みや体育の授業時間を使って、持久走を行う取り組みです。5月16日、講師の先生に教えていただいたことを生かし、自分のペースを見つながら取り組んでいます。暑い日が続くようになってきていますので、水分をしっかりと補給し、安全に行えるようにしていきます。

## 【読書活動の充実】

読書活動を充実するために、今年度から読書記録共有アプリYomumoを使用しています。

子供たちが読んだ本の感想などをアプリに投稿することで、読書記録を共有し、より読書に親しめるようにします。※1年生は、今後タブレット使用開始に合わせてアプリを利用し始めます。

〇6月はみどりの読書月間です。取組内容は、月曜日と水曜日は朝学習の時間の読書、火曜日はお昼の放送での読み聞かせを行います。読書の習慣が身に付くよう、ご家庭でも本に親しむ時間をとっていただければと思います。

## 【地域と連携した教育活動】

1年生は、遠足で地域の「金山緑地公園」に行きました。春の草花や生き物を探し、ビンゴをしました。清瀬の「春」をたくさん見つけ、楽しみました。

3年生は、社会「学校のまわりや清瀬市の様子」の学習の一環で、「社会科まちたんけん」に行きました。北は金山緑地方面に行き、南は日枝神社方面に行きました。学校のまわりの様子について、実際にみんなで見学することで学習を深めることができました。たくさんの保護者の方に、ご協力いただきました。ありがとうございました。

## 【特別支援教育の充実】

今年度は、2名のスクールカウンセラーが来校し、保護者及び児童本人の相談を受けています。（火曜日・金曜日）また、特別支援教育校内委員会にも出席し、管理職・特別支援教育コーディネーター・きらり担当と情報共有や支援方法の検討をしています。

さらに、年間6回心理士の巡回指導があり、特別な支援が必要な児童について、児童の特性や支援方法について専門的な見地から助言をいただき、児童理解や支援の充実に努めています。